

気支校コミスク通信

令和6年度
第2号
R6.12.16

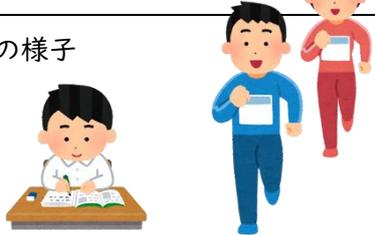
第2回学校運営協議会開催 「熟議」を実施しました！

10月18日（金）に第2回学校運営協議会を開催し、右のテーマのもと「熟議」を行いました。4グループに分かれ、前半は本校の教育や児童生徒のどんなところを知ってもらう必要があるか意見を出し合い、後半は前半で出た意見に対して具体的にどんなことができるかを話し合いました。委員の皆様からは、積極的にいろいろな意見が出され、大変有意義な熟議となりました。熟議の結果を整理し、今後の学校運営に生かしてまいります。

～ 熟議のテーマ ～

学校教育目標及び共生社会
の実現に向けて
本校の教育や児童生徒のことを
地域の方にもっと知ってもらう
ためにはどうしたらよいか？

熟議で出された意見を一部、御紹介します。

【前半】 どんなどころを知ってもらう必要があるか	【後半】 具体的にどんなことができるか
<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の活躍、子供たちの頑張っている姿 教育目標を生かした子供たちのよさ ○辛さや困り感も含めて ○教師の姿 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域行事への参加 ○行事でのボランティア参加再開 ○作品などの常設展示 ○気養太鼓や虎舞を出張して披露 ○子供が自分で渡せる名刺作成 ○施設も含めた福祉文化祭 ○居住地の小・中学校の入学式・卒業式への参加
<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の特性・実態、障害特性への知見 児童生徒の理解・関わり方 	<ul style="list-style-type: none"> ○子育てや障害についての意見交換会 ○学校生活の様子を漫画で発信 ○地域に学びの場、地域への出前授業、学習会 ○一般企業の方を実習で受け入れ
<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容、授業の様子 	<ul style="list-style-type: none"> ○パンフレットやリーフレットの作成 ○新聞、広報、回覧、SNSなどで発信 ○学校に来てもらう仕掛け（クーポン券など） ○ワークショップを生徒と一緒に体験 ○カリキュラムの可視化
<ul style="list-style-type: none"> ○支援学校ってどんなどころか ○学校の特色 ○学校の明るさ 	<ul style="list-style-type: none"> ○お店などに学校紹介ブース設置 ○コミュニティールームの設置 ○学校見学会、授業公開、オープンスクール ○地域行事への参加、地域行事とのタイアップ ○市民を巻き込んだ行事 ○運動会、学校祭への参加呼び掛け

< 第 2 回学校運営協議会の様子 >



Aグループ：鈴木委員、小林委員、松岡委員、小野寺



Bグループ：袖野副会長、今泉委員、七宮委員、熊谷、佐々木



Cグループ：榎村委員、熊谷委員、梶原会長、鈴木、伊藤



Dグループ：小野寺委員、三浦委員、加藤委員、校長、三浦



Bグループの発表



Cグループの発表

校内研修会実施



R6.8.22

「地域とともにある学校づくり
コミュニティ・スクールとは」と
題して、本校学校運営協議会委員
でCSマイスターの今泉良正先生
に御講義いただきました。昨年度
に引き続き2回目の実施で、コミュ
ニティ・スクールとして地域と
連携する意義や熟議の有効性に
ついてさらに理解を深めました。

コミュニティ・スクール先進校視察



R6.9.13

宮城県立支援学校女川高等学園

女川高等学園学校運営協議会の
防災教育部会が参画する『総合防
災訓練』の2日目を視察しました。
地域住民参加型の避難所運営訓練
で、毎年、委員や地域住民の意見
を取り入れながら、改善を図って
いるとのこと。学校行事に委員
や地域住民がどう参画していく
のか参考になりました。



R6.9.18

岩手県立気仙光陵支援学校

第2回学校運営協議会の熟議の
様子を視察しました。「気仙光陵支
援学校の可能性を見つけない！」
をテーマに活発な意見交換がなさ
れていました。令和4・5年度は
熟議に基づき、リーフレット作り
を行っていたとのこと。熟議を
学校運営にどうつなげていくのか
参考になりました。